北海道芸術デザイン専門学校　教科目概要（授業カリキュラム）

職業実践専門課程　環境デザイン学科（2年制）

フラワーデザイン専攻

教科目	概要	1年次	2年次
フラワーデザイン基礎演習	(公社)日本フラワーデザイナ協会［NFD］のデザイン理論に基づいて、フラワーの技術と知識の基礎を学び、季節の花やグリーンをデザインする。	○	
コーディネーション基礎	植物の特性をよく観察し、アートとして花材の基礎を学びデザインする。	○	
いけばな基礎演習	池坊の起源・基礎を学び、色彩、自然との関りを実技にて表現する。	○	
グリーンコーディネーション	花材の処理など実践スキルを身につける。テーマに合ったデザインの引き出しを増やす。様々な素材を使用し発想の幅を広げる。	○	
ディスプレイ演習Ⅰ	花材の特性を学んだうえで、特性を生かしディスプレイ装飾の基本を学ぶ。	○	
デザイン基礎Ⅰ	デザインの構成要素と組み合わせ方やバランスを考え、デザインの原則を学ぶ。	○	
DTP基礎演習	PCの基本操作、illustrator、Photoshopの基本操作を習得し、PCによるデザイン技術の習得を目指す。	○	
植物学	植物の学名や植生など、フローリストとして知っておくべき植物学の基礎的内容について、調査や観察記録をまじえて学ぶ。	○	
色彩	フラワーデザインに必要な色彩の基礎を学び、色彩士検定3級の取得を目指す。	○	
英語	アート・デザインの視点で英語を学ぶ。専攻ごとに関連した言語の理解を深める。	○	
一般教養	社会人としての一般教養、常識、礼儀等を学ぶ。	○	
前期課題制作	日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、前期のまとめとして課題制作を行い、各種コンテスト(コンペ、公募、アワード)へ出品する。	○	
フラワーデザイン演習	フラワーの技術と知識の基礎を学び、季節の花やイベントに合わせデザインする。	○	
コーディネーションⅠ	自然素材から着想を得た表現力を培う。アレンジメントの基礎復習から応用技術を学ぶ。	○	
フローラルアートⅠ	様々な素材を使用し、フラワーアレンジとフラワーデザインの引き出しを増やす。	○	
ディスプレイ演習Ⅱ	設定されたコンセプト、共通テーマを意識して、個人でのデザイン、チームでのデザインと作品制作を行う。	○	
クリエイティブワークⅠ	花の植生の基本知識を身につけ、素材を生かすデザインを学ぶ。	○	
キャリアプランニング	社会人として重要な心構え、接遇の基本を学ぶ。	○	
デザイン基礎Ⅱ	illustrator、Photoshopの基本操作を復習し、応用技術を学ぶ。	○	
DTP演習	文字の扱いとバランス、レイアウトが持つ意味を理解させ、意図を感じるものづくりの意識の定着を図る。	○	
プランニング	PowerPointを用いたプレゼンテーションを学び、グループワークによるイベントプランニングとプレゼンテーションを行う。	○	
立体表現	様々なアート作品における生花、木材の扱いを知り、作品理解の幅を広げる。	○	
販売実務	店舗内における効果的なPOPや広告の基本。その役割を学ぶ。	○	
デッサン	生花をよく眼察し、正確に美しく描く。花と向き合い、観察力と表現力を養う。	○	
後期課題制作	日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、後期のまとめとして課題制作を行う。	○	

北海道芸術デザイン専門学校　教科目概要（授業カリキュラム）

進級制作	一年間の総まとめとしての成果を問うべく、各自専攻色を生かした課題制作に取り組む。	○	
フラワーデザイン演習Ⅱ	フラワーの基礎の上に充分な技術と知識を学び、季節の花やグリーンなどをデザインする。		○
コーディネーションⅡ	様々な自然素材から着想を得て、フラワーアレンジに生かす。コンテストやフラワーディスプレイに挑戦する。		○
いけばな演習	日本の伝統流派を学ぶ。和の作法を知り、古来から続くいけばなの奥深さに触れる。		○
スペースデザイン演習	コンセプト、共通テーマを意識して、個人でのデザイン、チームでのデザインと作品制作を行う。パースの基本を学ぶ。		○
クリエイティブワークⅡ	花の植生の基本知識と素材を生かすデザインを学ぶ。常にトレンドのデザインを意識し、実践する。		○
フローラルアートⅡ	身近にある様々な素材を使用し、フラワーアレンジメントに生かしデザインの引き出しを増やす。		○
ブライダルフラワー	ブライダルプランナーの仕事やブライダルフラワーのコーディネーションに触れ、ブライダルフラワーの仕事に関して理解を深める。		○
フラワービジネス	花産業の内容を学び、経営・商品・技術とサービスというビジネスの基本的なしくみを理解する。国家検定フラワー装飾技能検定3級実技対策の内容も含め、フラワーデザインの技能を学ぶ。		○
造形演習	造形の基本となる構成要素を理解し、空間造形センスと豊かな感性を養う。		○
プレゼンテーションⅠ	ドローイングや研究資料をもとに提案書を作る編集技能を身につけ、さらにプレゼンテーションを行うことで、コミュニケーション能力を高める。		○
前期課題制作	日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、前期のまとめとして課題制作を行い、各種コンテスト(コンペ、公募、アワード)へ出品する。		○
プレゼンテーションⅡ	効果的なプレゼンを考え、魅力的なプレゼンテーションボードを制作する。		○
卒業制作	在学中に学んだ専門知識技術などの専攻色を十分に生かして、自らテーマを設定した数週間の長期制作。2年間のメモリアルワークとなる。		○
企業研究	北海道内外のフラワー産業の実態を知り、小売店舗のほか、ブライダル業、園芸業など、現況の企業情勢などを研究し就職への目標を定める。		○
業界研究	自分の目指す業界、企業の具体的な調査・分析方法を習得し、就職活動に生かす。		○
総履修時間		1200	1200

取得目標資格	在学時：国家検定フラワー装飾技能士3級、色彩士検定、Excel表計算処理技能認定試験、ビジネス能力検定ジョブパスなど 卒業後：国家検定フラワー装飾技能士2級、国家検定フラワー装飾技能士1級など

※1年間で1,200単位時間、2年間で2,400単位時間学びます。

※本校では他に類を見ないほど、生花を多く活用した実習により、生花業界で通用するフラワーデザイナーとしての技能とセンスが学べます。

※本専攻は国家検定フラワー装飾技能検定の受験資格に関し「検定職種の学科」とみなされ、在学者は申請により実務経験の免除（3級）、卒業者は免除（2級）、短縮（1級）を認められます。

※時勢や企業のニーズにより、内容が変更になることがあります。

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

専門課程　環境デザイン学科 フラワーデザイン専攻

授業科目名	区分		配当年次・学期	授業時数
	必修	選択		
フラワーデザイン基礎演習	○		1年・前期	60
フラワーデザイン演習	○		1年・後期	30
フラワーデザイン演習Ⅱ	○		2年・前期	60
コーディネーション基礎	○		1年・前期	60
コーディネーションⅠ	○		1年・後期	30
コーディネーションⅡ	○		2年・前期	60
グリーンコーディネーション	○		1年・前期	60
フローラルアートⅠ	○		1年・後期	30
フローラルアートⅡ	○		2年・前期	60
ディスプレイ演習Ⅰ	○		1年・前期	60
ディスプレイ演習Ⅱ	○		1年・後期	30
スペースデザイン演習	○		2年・前期	60
いけばな基礎演習	○		1年・前期	60
いけばな演習	○		2年・前期	60
クリエイティブワークⅠ	○		1年・前期	30
クリエイティブワークⅡ	○		2年・前期	60
植物学	○		1年・前期	60
ブライダルフラワー	○		2年・前期	60
フラワービジネス	○		2年・前期	60
キャリアプランニング	○		1年・後期	30
DTP基礎演習	○		1年・前期	60
DTP演習	○		1年・後期	30
プレゼンテーションⅠ	○		2年・前期	30
プレゼンテーションⅡ	○		2年・後期	60
デザイン基礎Ⅱ	○		1年・後期	30
販売実務	○		1年・後期	30
造形演習	○		2年・前期	60
英語	○		1年・前期	30
合　計				1350

学校名	北海道芸術デザイン専門学校
設置者名	学校法人　美専学園

○成績管理の実施及び公表の概要

１．授業計画書の作成・公表に係る取組の概要	
■授業計画の作成 ・各教科指導担当教員がシラバスを作成し教務部へ提出。 ・シラバス記載内容：指導担当者と実務経験/授業概要/到達目標/授業計画/評価方法/履修上の留意点等。 ・シラバスは、以下の PDCA サイクルに基づき策定。 １月：教育課程編成委員会で各専攻教育課程試案を提示、外部委員と意見交換。３月：新年度教育課程に基づいて各教科の指導内容等を協議・確認する講師会議を実施。８月：教育課程編成委員会で運用中の教育課程について状況を報告し、助言を踏まえ必要に応じ改善を実施。 ■授業計画の公表 各専攻の教科目概要･シラバス･実務経験のある教員等による授業科目の一覧を本校 web サイトの各専攻紹介ページで公開	
授業計画書の公表方法	本校 web サイトの各専攻紹介ページで公開
２．授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要	
学則第 12 条・13 条に基づき以下の方法で認定。 ■各教科の履修認定 ・到達目標に対する達成度/出席状況/課題提出状況を総合的に勘案。 ・評価方法等は入学後のクラスオリエンテーションで各担任が学生へ周知。 ・各教科の評定等は成績表に記載し、学期末に保護者へ送付。 ■進級の認定 ・進級制作要項に基づき、所定期間内で制作した提出物を審査会で評価。 ・評価方法等は事前に要項で学生に明示、集計表および合否は校内に掲示。 ・審査会の集計結果を踏まえ、進級要件を満たしているか認定会議で判定。	
３．客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要	
■客観的な指標の設定・公表 ・履修科目の５段階の成績評価をつぎの配点で GP（ポイント）化する。 秀→5.0 優→4.0 良→3.0 可→2.0　不可→1.0 GPA は次の計算式に従い算出する。 GPA＝(GP×科目の単位数)/履修科目の単位数の合計 ※不可・不合格と判定されたり履修を中止した授業科目は GP＝1.0 とする。 ■成績評価の適切な実施に係る取組 ・成績管理システムで上記 GPA 算出式による GPA 帳票出力を行う ・GPA 帳票により成績分布状況を的確に把握し、期末時に指導可能な体制を整備	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	本校 web サイトにて公開
４．卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要	
卒業認定の方針 ・卒業制作作品に専攻の特性が活かされているか、在学期間中の集大成としてふさわしい成果物かどうか、各専攻の最終審査に基づき合否を判定。出席率・卒業制作以外の課題提出状況等、他の要件も勘案し卒業を認定。 ■卒業の認定に係る取組 ・卒業制作要項に基づき、所定期間内で制作した提出物を審査会で評価。 ・評価方法等は事前に要項で学生に明示、集計表および合否は校内に掲示。 ・審査会の集計結果を踏まえ、卒業要件を満たしているか認定会議で判定。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	本校 web サイトにて公開

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 谷内恵　（非常勤講師）
実務経験: 1級フラワーデザイナーNFD本部講師。1級フラワー装飾技能士。

科目名 : フラワーデザイン基礎演習

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: （公社）日本フラワーデザイナ協会［NFD］のデザイン理論に基づいて、フラワーの技術と知識の基礎を学び、季節の花やグリーンをデザインする

■到達目標: 植物をよく観察し、形態や植生を考えたデザインが出来るテクニックと知識を身につける

■授業計画:

第1回　フラワーデザインの基礎知識:フラワーデザインの構成理論　花の主張度、特徴、役割、水揚げ等　　用具と資材　ワイヤリングやリボンワークなどの基礎テクニック

第2回　スワンアレンジメント:生花で白鳥を作る　テーブルデコレーションやギフトに

第3回　トピアリーアレンジメント:アーティフィシャルフラワーを使ったトピアリー

第4回　並行—装飾的:垂直な並行配置によって装飾感を表現する構成

第5回　リースアレンジメント:リース状に構成するテーブルデコレーション

第6回　トライアンギュラーアレンジメント:二等辺三角形に構成されたアレンジメント

第7回　丸い花束:スパイラルに組み丸く束ねる花束

第8回　モダン—装飾的ブーケ:ブーケホルダーを用いて円錐形に構成する花嫁の花束

第9回　コサージ:女性が衣服や身体に直接あるいは間接に飾る小さな花束の総称
アーティフィシャルフラワーで制作

第10回　スプレイシェイプアレンジメント:花束を横に置いたようなアレンジメント

第11回　共同形態:わずかな主張の植物を群生させることで表現する構成

第12回　器を作る:グラスチューブをデコパージュし、一輪挿しを作る

第13回　プティデザイン①:22.5cm四方以内でアレンジするデザインを考える。器、デザイン、花材を考えデッサンする

第14回　プティデザイン②:22.5cm四方以内でアレンジするデザインを考える。前回のデッサン画に基づいて制作

第15回　カフスブーケ:花のふち周りを囲い装飾をしたブーケ

■教科書: フラワーデザイナー資格検定試験テキスト

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 清水さくら （非常勤講師）
実務経験: 生花店チーフデザイナー。フローリスト 。ハナトリウム主宰。北海道デザイン協議会会員。ジャパンカップ1位受賞、アジアカップ日本代表など

科目名 :	コーディネーション基礎

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 植物の特性をよく観察し、アートとして花材の基礎を学びデザインする

■到達目標: 植物の持つ特性を深く観察し、理解を深めた上でデザインとテクニックの基礎を身につける。

■授業計画:

第1回　春のデザイン:春の花で作るブーケ

第2回　植物とフルーツ野菜:フルーツや野菜を使ってアレンジする

第3回　母の日ギフト:BOXアレンジ

第4回　複数の器:3～5個の器にデザインする

第5回　スワッグ　壁の花:ドライになる花でデザインする

第6回　身につけるコサージュ:コサージュ、ブレスかアレンジする

第7回　父の日ギフト:プレゼントと植物

第8回　ブライダルデザイン:デッサンとプラン

第9回　ウェディングディスプレイ:飾花メインテーブル

第10回　ブライダルブーケ:ナチュラルブーケ

第11回　夏のデザイン:トロピカルアレンジ

第12回　フューネラルデザイン:1対の花（葬儀花）

第13回　美術館見学:美術館見学

第14回　植物1種類:コンテスト形式で半数ずつ制作する。

第15回　秋のコラージュ:実と葉のデザイン

■教科書: 自作資料

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 柏葉弥生 （非常勤講師）
実務経験: 華道家元池坊師範　准華督

科目名　: **いけばな基礎演習**

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 日本の伝統文化として伝えられているいけばなの原点である池坊の起源・基礎・応用環境・時代の変化にも対応してきた池坊の四季草木の美しさ、色彩、自然との関りを実技にて表現

■到達目標: いけばなの基礎を習得すると共に理解を深める、授業終了時まで免許を取得する（初等科）

■授業計画:

第1回　講義伝統文化としてのいけばな:「伝統」とは･･･いけばな池坊の発祥を略年表を使って講義　　いけばなの由来、日本風土といけばなの出発点

第2回　校外学習:北海道いけばな百人展　　いけばな各流派の作品を鑑賞

第3回　いけばなの原点:講義:現代のいけばなとフラワーアレンジ
実技:教材･道具についての説明、自由花の道具について　　ハサミ･剣山･器他

第4回　テキストABC:自由花の特質:原型的なフォルムと基本形態

第5回　自由花　実技:発想について作品制作にあたり、明確な発想とインスピレーションを持つ

第6回　校外学習:池坊展　鑑賞

第7回　実技　自由花:植物の美と季節の草木。自由花構成に関わる用語の説明。　点･線･面･マッス

第8回　実技　自由花:植物の裏表、左右、上中下段。生花(しょうか)に関わる用語説明

第9回　実技　自由花:各自の自由発想で自由花作品制作と作品説明

第10回　実技　自由花:各自の自由発想で自由花作品制作と作品説明

第11回　実技　自由花:各自の自由発想で自由花作品制作と作品説明

第12回　生花正風体(しょうかしょうふうたい):葉蘭を使って生花(しょうか)について説明
種類、用語、伝統的日本家屋における日本間と床の間。飾る際の注意点:陰陽について

第13回　実技　生花正風体:生花正風体　一種生(葉蘭)　本勝手と逆勝手

第14回　実技　生花正風体:生花正風体　一種生(リアトリス)

第15回　講義　まとめ:いけばなの講義を受けた感想をレポート作成

■教科書: IKENOBO　ABC、いけばな略年表

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 江尻　陽子　（非常勤講師）
実務経験: 生花店勤務、店内業務全般を担当

科目名　: **グリーンコーディネーション**

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 花材の処理など実践スキルを身につける。
テーマに合ったデザインの引き出しを増やす。様々な素材を使用し発想の幅を広げる。

■到達目標: 花材の処理の基本を身につけ、デザインの可能性を広げ、作品作りに生かす能力を養う

■授業計画:

第1回　オリエンテーション　ワイヤリング①:年間の授業説明　生花の処理の基礎を学ぶ

第2回　ワイヤリング②:前回の続き。 反復練習で身につける。

第3回　押し花アート:事前に生花の花びらを押し花処理してもらい、一枚絵を制作する。

第4回　寄せ植え①:チームを作り、各自テーマや使用する材料、植物の選定。デザイン画を描く

第5回　寄せ植え②:前回の続き。事前に準備できるものはする

第6回　寄せ植え③:実際にデザイン画を元に植物を植える。

第7回　ローズウィンドウ①:切り絵のようなステンドグラスを紙で表現する。デザインをおこす。

第8回　ローズウィンドウ②:前回の続き。デザインを元に色用紙を切る。

第9回　ローズウィンドウ③:前回の続き。完成。プレゼン、評論会。

第10回　モービル・ガーランド制作①:壁面や吊り下げる作品の制作。デザインを起こす。

第11回　モービル・ガーランド制作②:前回の続き。デザインを元に制作

第12回　モービル・ガーランド制作③:前回の続き。完成。時間があれば評論会。

第13回　花冠制作:花壇のお花を使って花冠を制作。

第14回　学校祭に向けて①:1、2年合同で学校祭に向けて販売商品とディスプレイ提案

第15回　学校祭に向けて②:前回の続き。事前に準備できるものは制作。

■教科書: アートフラワー、制作に必要な素材

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 柳瀬　勇佑　（非常勤講師）
実務経験: ブライダル業務、装花業務、店内業務全般を経験後フローリストとしてデザイナー担当。

科目名　:　ディスプレイ演習Ⅰ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: テキストと実践の両面から、花材の水揚げの基本と、花材別の様々な水揚げ方法を学ぶ。花材の特性を学んだうえで、特性を生かしディスプレイ装飾の基本を学ぶ

■到達目標: ①テキスト「水揚げ＆花のケア―切り花の鮮度保持マニュアル　単行本」に掲載している水揚げ方法を一通り経験している。同テキストの「４　品目別水揚げ」の知識を習得し、確認テストに合格する。②フラワーディスプレイの考え方の基礎を養う

■授業計画:

第1回　オリエンテーション　呼吸と光合成　実践…水揚げ実習、小作品制作1

第2回　維管束と水揚げ作業　実践…水揚げ実習、小作品制作2

第3回　バクテリア対策　実践…水揚げ実習、小作品制作3

第4回　栄養補給剤　実践…水揚げ実習、小作品制作4

第5回　エチレンガスとSTS1

第6回　エチレンガスとSTS2　実践…水揚げ実習、小作品制作5

第7回　生産者が行う「前処理」 実践…水揚げ実習、小作品制作6

第8回　流通段階での鮮度保持　実践…水揚げ実習、小作品制作7

第9回　テキスト内容を実践で確認する（品質保持剤使用実験、身の回りの物での実験）

第10回　筆記による確認テスト、実践による確認テストを両方行う。

第11回　ダリアの摘芯、追肥、園芸用竿の交換（長いものに）ダリア展で校内展示に使用できるように、ダリアを長時間、美しく咲かせるよう手入れをする

第12回　ダリアの花壇メンテナンス、追肥

第13回　ダリア展のデザインおこし（校内展示のアレンジメント、百合が原公園展示のディスプレイ1年生担当箇所）

第14回　ダリア展作品の土台制作1（校内展示のアレンジメント、百合が原公園展示のディスプレイ1年生担当箇所）

第15回　ダリア展作品の土台制作2（校内展示のアレンジメント、百合が原公園展示のディスプレイ1年生担当箇所）

■教科書: フラワーデザイナーのためのハンドブック増補改訂版
水揚げ＆花のケア―切花の鮮度保持マニュアル　単行本
アレンジ花図鑑　花屋さんの花材がすべてわかる

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 桂　充子　（専任教員）
実務経験:

科目名　:	デザイン基礎Ⅰ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 課題演習を段階的に行うことでデザインの基礎を養います。デザインはラインや形、色や空間などの構成要素と組み合わせ方やバランスを考える、デザインの原則を学ぶことで表現を具現化します。また単に描画や造形だけではなく制作に対しての手がかりとなるテーマの見つけ方や、原則を生かすための多様なものの見方を身につけていきます。

■到達目標: 制作に対する技術とデザイン能力の習得

■授業計画:

第1回　アイスブレイク「言葉で絵を描く」「情報を視覚化」:デザインの基礎を説明。ペアリング、またはグループワークによる伝達方法の課題演習
第2回　平面構成1:ラインと空間、色の要素を組み立て、構成課題演習
第3回　平面構成2:1の課題の発表　2の課題はレイアウトを養う課題
第4回　立体構成「タウンをつくる」:2の課題の発表　ユニット構成
第5回　立体構成「タウンをつくる」:制作
第6回　マテリアル研究:立体構成の発表　20のテクスチャーを探す調査課題
第7回　マテリアル研究:制作
第8回　4コマファンタジー:マテリアル研究の発表　ストーリーの構築　現実から創造する世界
第9回　4コマファンタジー:描画表現
第10回　4コマファンタジー:中間発表　立体制作へ
第11回　4コマファンタジー:立体制作
第12回　4コマファンタジー:発表
第13回　ブレイク課題「フィールドワーク」:色の分量を量る、インプットアウトプットの方法を演習課題で取り組む
第14回　情報を伝達する「小さな記事をもっとメジャーに」:グループワークで新聞の記事をわかりやすくビジュアル化
第15回　情報を伝達する「小さな記事をもっとメジャーに」制作:グループワークで新聞の記事をわかりやすくビジュアル化

■教科書: 回ごと資料配布

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 山間　香綾　（専任教員）
実務経験: 店舗接客業、オーダーデザイン業務のアートディレクションからデザイン制作、ＤＴＰ作成等を担当。

科目名　:　DTP基礎演習

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要:
●PCの基本操作、illustrator、Photoshopの基本操作を習得する。
●名刺を作成し入稿データを作成を目指す。
●将来的に、プレゼンテーションボードやチラシのデザインをできる技能の習得を目指す。

■到達目標:
①Adbe　illustrator/Photoshopの基礎操作を習得する。
②コンセプトを立て、文字、図や画像などの情報を的確にデザインし表現する。③簡潔に分かりやすいイメージを作成する能力の向上

■授業計画:

第1回　DTPとは、その効果と重要性。

第2回　illustrator、Photoshopの違い。操作方法説明

第3回　illustrator、Photoshop検定問題①

第4回　illustrator、Photoshop検定問題②

第5回　自分のロゴマークを作る①

第6回　自分のロゴマークを作る②

第7回　自分のロゴマークを作る③

第8回　自分のロゴマークを作る④

第9回　フライヤーのデザイン①

第10回　フライヤーのデザイン②

第11回　フライヤーのデザイン③

第12回　フライヤーのデザイン④

第13回　ポストカードのデザイン①

第14回　ポストカードのデザイン②

第15回　ポストカードのデザイン③

■教科書: プロジェクターの投影中心、世界一わかりやすいillustrator、&Photoshop

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 孫田　敏　（非常勤講師）
実務経験: 林業企業を経験後、緑地化計画室勤務を経て起業、代表取締役。

科目名　:　植物学

履修形態: 必修
授業形態: 講義＋演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 植物に関する諸知識を、より実践に結びつけるため、育つ環境との関わりや植物の根の成長に必要な土壌や菌との関わり、具体的に植物が育てられる過程、植物の形はどうやって決まるか、さらに植物の名前はどう名付けられてきたか、植物と文化、作品の表現等を知る。

■到達目標: 植物が「生き物」であることを理解するとともに、植物を多様な視点から見つめ、取り扱う上での基礎知識を身につける。

■授業計画:

第1回　植物とは何か？〔生物・植物に関する定義の議論〕

第2回　植物はなぜ枯れるか？〔鉢植え・戸外の植物の生育不良観察〕

第3回　植物の形〔葉・茎・花などの植物器官の観察/矮性ヒマワリ栽培準備〕

第4回　植物の細部を見つめる(1)〔季節の植物の花などの観察と記録〕

第5回　植物の細部を見つめる(2)〔季節の植物の花などの観察と記録〕

第6回　さっぽろの植物について知る〔北大植物園見学〕

第7回　植物の分類〔似たもの同士を探す〕〔矮性ヒマワリの観察〕

第8回　植物の構造と働き(1)…根と茎〔矮性ヒマワリの観察〕

第9回　公園と植物〔大通公園花フェスタ見学〕

第10回　植物の構造と働き(2)…葉と花〔矮性ヒマワリの観察〕

第11回　植物が育つ基盤を知る〔土壌標本の触診と根系の観察〕

第12回　植物の名前〔レポートの書き方と課題〕

第13回　ヒトは花とどうつきあってきたか〔日本の風習と植物について調べスケッチ〕

第14回　植物が育てられる過程を知る〔苗畑見学〕

第15回　植物の一生〔果実と種子の観察〕

■教科書: パワーポイント・プリント（自製）・資料

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 飯塚哉子 （専任教員）
実務経験:

科目名 :	色彩

履修形態: 必修
授業形態: 講義＋演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 色の三属性や配色計画、対比、調和、補色といった色の基本的性質を学ぶ

■到達目標: 色のコーディネートを習得し、目的に基づく配色計画をデザインに応用出来る能力を養う。色彩士検定３級取得を目指す

■授業計画:

第1回　色のなりたち:光の定義、スペクトル、分光反射率特性、色温度、目の構造と視細胞

第2回　混色:加法混色の三原色（R, G, B）、減法混色の三原色（C, M, Y）

第3回　色の表示方法①:色名の分類、PCCS（Hue-Tone）、色立体、表記法

第4回　色の表示方法②:マンセル表色系、色立体の概念、表記法

第5回　色の知覚的効果①:色の時間的相互作用、残像、補色、色の空間的相互作用

第6回　色の知覚的効果②:色の伝達効果、JIS安全色、色の知覚的効果

第7回　色の心理的効果①:色の感情効果、SD法、固有感情と三属性の関係、心象

第8回　色の心理的効果②:色の象徴性（色相による象徴語）、色の慣習、色の象徴

第9回　色彩調和①:色彩調和の原理、配色分類と配色演習（同一、類似、対照）

第10回　色彩調和②:ドミナント配色、グラデーション、ナチュラルハーモニー

第11回　色彩調和③:トーンオントーン配色、カマイユ配色、秩序の原理による配色

第12回　検定直前対策Ⅰ:理論問題徹底解説、演習

第13回　検定直前対策Ⅱ:演習問題徹底解説、演習

第14回　検定直前対策Ⅲ:実技問題徹底解説、演習

第15回　検定直前対策Ⅳ:個人別苦手問題解説、演習

■教科書: カラーマスター ベーシック（NPO法人アデック出版局）

■参考書: カラーマスター スタンダード（NPO法人アデック出版局）、回転混色器、色立体

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:JIS慣用色名には花の名前が多く使用されているので興味を持って取り組んで欲しい

対象学科: **環境デザイン学科**
対象専攻: **フラワーデザイン専攻**
担当教員: **宮崎昭人** （非常勤講師）
実務経験: Just English Press Ltd.代表取締役。翻訳業務（観光・ビジネス・科学・法務分野等）、海外とのやり取り代行、外国語コンテンツ制作、企業向け英会話講座

科目名 : **英語**

履修形態: **必修**
授業形態: **講義**
履修学年: **１年次**
開講学期: **前期**
授業時数: **３０時間**
単　　位: **１単位**

■科目概要: 義務教育で習った英語の基本を再確認し、芸術分野、デザイン分野の職業の中で、英語を使用する場面に必要な英語力を習得する。

■到達目標: 英語力の自信を深め、自力でも能力を高めることができるようになるとともに、交換留学生などと積極的に異文化交流ができるような教養を育む

■授業計画:

第1回　はじめに:仕事のシーンで間違った英語を使ってしまわない感覚を磨く

第2回　身の回りの英語:会社名、ブランド名、商品名に使われている英語の意味

第3回　英会話基礎:日本語の中の外来語の多さを理解し、英会話の基礎を学ぶ

第4回　品詞の理解:辞書の使い方

第5回　品詞別重要ポイント①:名詞、冠詞、代名詞の正しい使い方

第6回　スペルミス防止:作品のタイトル、チラシ、ポスター、看板等に見られる誤表記事例

第7回　品詞別重要ポイント②:動詞(be動詞、一般動詞)、助動詞の使い方

第8回　スペルミス防止:作品のタイトル、チラシ、ポスター、看板等に見られる誤表記事例

第9回　品詞別重要ポイント④:接続詞、形容詞、副詞、前置詞、接続詞の使い方

第10回　翻訳:翻訳の種類(直訳、意訳、超訳とはどのようなものかを理解する)

第11回　翻訳:自動的に翻訳される機械翻訳の問題点を理解し、使い方のコツを習得

第12回　自己紹介

第13回　口語英語表現、英語を必要とする様々なシーン

第14回　日常で使用する英語:住所表記、入国カード、日本食の英語表現

第15回　まとめ

■教科書: プリント配布

■参考書: 辞書があれば望ましい

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 山間　香綾　（専任教員）
実務経験: 店舗接客業、オーダーデザイン業務のアートディレクションからデザイン制作、ＤＴＰ作成等を担当。

科目名　:　一般教養

履修形態: 必修
授業形態: 講義＋演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: ●社会人に必要な基本事項を確認し、店舗見学などに備える。　●一般常識を養うことを目指し、ビジネス能力検定合格に向けての自主学習を促す。

■到達目標:
①ビジネス能力検定3級の合格
②フローリストに必要な一般常識を理解する。
③ExcelとWordの簡単な事務作業を覚える。

■授業計画:

第1回　社会人としての心得、社会人とは
第2回　ビジネス能力検定試験問題①
第3回　ビジネス能力検定試験問題②
第4回　ビジネス能力検定試験問題③
第5回　ビジネス能力検定試験問題④
第6回　グループディスカッション①
第7回　グループディスカッション②
第8回　グループディスカッション③
第9回　グループ面接練習①
第10回　グループ面接練習②
第11回　一般教養問題集①
第12回　一般教養問題集②
第13回　電話対応、社外文書の基本
第14回　接客業、小売業の基本
第15回　まとめ:グループワーク

■教科書: 自作プリント・資料
■参考書:
■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。
■関連科目:
■履修上の留意点

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 山間香綾　（専任教員）
実務経験:

科目名　:	前期課題制作

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ３０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、前期のまとめとして課題制作を行い、各種コンテスト（コンペ、公募、アワード）へ出品する。

■到達目標: 必要な資料を収集するリサーチ能力や、多様な視点から発想を広げて具体的な表現に展開する力を身に付ける。

■授業計画:

第1回　情報収集

第2回　収集データの解析と加工

第3回　傾向と対策

第4回　アイディア出し、エスキース

第5回　ファーストインプレッション

第6回　アウトプット

第7回　ブラッシュアップ作業

第8回　コンセプトワーク、ターゲットユーザー

第9回　構成とロジック

第10回　モックアップ（模型）制作

第11回　実制作（自分らしい表現方法を知り、双方向なプレゼンテーションを目指す）

第12回　ブラッシュアップ作業

第13回　実制作

第14回　自分の意見・考えを確立した説得力のあるプレゼンテーション

第15回　フィードバック

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 谷内　恵　（非常勤講師）
実務経験: 1級フラワーデザイナーNFD本部講師。1級フラワー装飾技能士。

科目名　:	フラワーデザイン演習

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: （公社）日本フラワーデザイナー協会［NFD］のデザイン理論に基づいて、フラワーの技術と知識の基礎を学び、季節の花やイベントに合わせデザインする

■到達目標: 花に関連する行事を理解し、植物をよく観察して形態や植生を考えたデザインが出来る技術と知識を身につける

■授業計画:

第1回　秋の花束：枝物を入れたシュトラウス(花束)

第2回　バードケージアレンジメント：鳥かご風デザイン

第3回　植生的：植物の自然の植生をイメージして、生えているかのように理想化する構成

第4回　ハロウィンアレンジメント：ファーガスなどを使用したハロウィンのデザイン

第5回　ラウンドブーケ：ワイヤーテクニックにより円形に構成する花嫁の花束

第6回　巻きバラと冬のリース：リボンで巻きバラを作り、毛糸やアーティフィシャルフラワーと合わせて制作①

第7回　巻きバラと冬のリース：リボンで巻きバラを作り、毛糸やアーティフィシャルフラワーと合わせて制作②

第8回　進級制作について：進級制作のアレンジザインを考える①

第9回　進級制作について：進級制作のアレンジザインを考える②

第10回　進級制作について：進級制作のアレンジザインを考える③

第11回　クリスマスデザイン①：プラスティックダンボールをデコパージュし、アレンジベースを制作

第12回　クリスマスデザイン②：前回制作したベースに、アーティフィシャルフラワーをアレンジ

第13回　正月飾り：アーティフィシャルフラワーで制作する正月飾り

第14回　大型デザインの制作補助：卒業制作活け込みのアシスタント作業、見学①

第15回　大型デザインの制作補助：卒業制作活け込みのアシスタント作業、見学②

■教科書: フラワーデザイナー資格検定試験テキスト

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 清水さくら （非常勤講師）
実務経験: 生花店チーフデザイナー。フローリスト 。ハナトリウム主宰。北海道デザイン協議会会員。ジャパンカップ1位受賞、アジアカップ日本代表など

科目名 : コーディネーションⅠ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 自然素材から着想を得てオンリーワンの表現を目指す。
アレンジメントの基礎復習から応用技術を学ぶ

■到達目標: 自然素材の特徴を理解し、それをデザインに生かす発想ができるようになる。

■授業計画:

第1回　ステージの花:ディスプレイ

第2回　グリーンディスプレイ:色々なグリーンでアレンジする

第3回　秋のブーケ:秋色の実や花でアレンジ①

第4回　秋のブーケ:秋色の実や花でアレンジ②

第5回　空間ディスプレイ:校内をデザイン①

第6回　空間ディスプレイ:校内をデザイン②

第7回　DVD　花屋:フランスのフローリスト

第8回　フラワーコンテスト:ディスプレイと花束①

第9回　フラワーコンテスト:ディスプレイと花束②

第10回　クリスマスリース:リース制作①

第11回　クリスマスリース:リース制作②

第12回　卒制アシスト①

第13回　卒制アシスト②

第14回　正月飾り:お正月飾り①　しめ飾り

第15回　正月飾り:お正月飾り②

■教科書: 自作資料

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 江尻　陽子　（非常勤講師）
実務経験: 生花店勤務、店内業務全般を担当

科目名　:	フローラルアートⅠ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 様々な素材を使用し、フラワーアレンジとフラワーデザインの引き出しを増やす。

■到達目標: 身近なものからも着想を得てデザインの可能性を広げ、フラワーアレンジに生かせるようになる。

■授業計画:

第1回　箱を使って空間を生かしたデザイン①:木材で箱を制作し、アートフラワーなどを使い作品を制作。
第2回　箱を使って空間を生かしたデザイン②:前回の続き。作品制作。
第3回　箱を使って空間を生かしたデザイン③:前回の続き。完成。プレゼンと評論会。
第4回　リース制作①:外に落ちている枝や葉を集め、リースを制作。
第5回　リース制作②:前回の続き。
第6回　リース制作③:前回の続き。作品完成。
第7回　花束用の器、ブーケアシスト制作①:花束用のブーケアシスト、器を制作。デザインをおこす。
第8回　花束用の器、ブーケアシスト制作②:前回の続き。作品制作。
第9回　花束用の器、ブーケアシスト制作③:前回の続き。作品完成。プレゼンと評論会
第10回　オータムジャーポット制作①:瓶の中に秋らしいものを入れて1つの作品にする。
第11回　オータムジャーポット制作②
第12回　オータムジャーポット制作③:前回の続き。作品完成。
第13回　押し花フォトフレーム制作①:押し花にした花びらを使い、作品制作。デザインをおこ
第14回　押し花フォトフレーム制作②:前回の続き
第15回　押し花フォトフレーム制作③:前回の続き。完成

■教科書: アートフラワー、制作に必要な素材

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 柳瀬　勇佑　（非常勤講師）
実務経験: ブライダル業務、装花業務、店内業務全般を経験後フローリストとしてデザイナー担当。

科目名　:　ディスプレイ演習Ⅱ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 設定されたコンセプト、共通テーマを意識して、個人でのデザイン、チームでのデザインと作品制作を行う。
パースの基本を学ぶ。デザインおこしの経験を、進級制作に繋げる

■到達目標: 簡単なパースを描ける。空間装飾の役割を理解し、設定された共通テーマやコンセプトにそってデザインを起案し、空間を生かす作品を制作できる。

■授業計画:

第1回　オリエンテーション、導入：パースの基本1

第2回　パースの基本2

第3回　パースの基本3

第4回　模型製作1

第5回　模型製作2

第6回　模型製作3

第7回　フラワーカフェのプレゼンテーション

第8回　フラワーカフェ（1SC教室の一角に制作すると仮定）使用花材、他材料を選定。

第9回　フラワーカフェ制作

第10回　フラワーカフェ　振り返り

第11回　卓上アレンジメントのデザインおこし1

第12回　卓上アレンジメントのデザインおこし2

第13回　進級制作のデザインおこし1

第14回　進級制作のデザインおこし2

第15回　進級制作のデザインおこし3

■教科書: フラワーデザイナーのためのハンドブック　増補改訂版
アレンジ花図鑑　花屋さんの花材がすべてわかる

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 中村　晃　（非常勤講師）
実務経験: 生花店店舗業務全般経験後、ゼネラルマネージャーとして勤務。札幌カップゴールド賞、デザイナーズウィークアレンジコンテスト優勝など

科目名　:	クリエイティブワークⅠ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 花の植生の基本知識を身につけさせ、素材を生かすデザインを学ばせる

■到達目標: 花の植生の基本知識をもとに素材を生かすデザインを生み出す姿勢を身につける

■授業計画:

第1回　ギフト:基本（アレンジ）
第2回　ギフト:基本（花束）
第3回　ギフト:開店（アレンジ）
第4回　ギフト:フューネラル（アレンジ）
第5回　ギフト:花束色々なデザイン
第6回　ギフト:花束色々なデザイン
第7回　生け込み:投げ入れ
第8回　生け込み:投げ入れ2
第9回　ディスプレイ1:アートフラワー（オブジェ）
第10回　ディスプレイ2:アートフラワー（オブジェ）
第11回　レッスン:フリーデザイン（アレンジ）
第12回　レッスン:フリーデザイン（ディスプレイ）
第13回　レッスン:フリーデザイン（ブーケ）
第14回　コンテスト　アキラカップ
第15回　コンテスト　アキラカップ2

■教科書: 自作プリント・資料

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 小泉　笑美子　（非常勤講師）
実務経験: 結婚式場アシスタント 経験後フリーアナウンサーとして活動、その後(株)エデュースを設立、代表取締役

科目名　:　キャリアプランニング

履修形態: 必修
授業形態: 講義＋演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: ワークシートで接遇の基本を学び、ペアワークやグループワークを取り入れ知識にとどめず行動に表し、気づきを見出す。

■到達目標: コミュニケーション＆マナーを位につけて、社会の第一線で活躍できる能力を身につける

■授業計画:

第1回　人の心を動かす声と言葉で挨拶:ノンバーバルコミュニケーションの確認(表情・態度・立ち振る舞い・言葉遣い)
第2回　声を作る(発音・滑舌チェック)・映像で自己チェック
第3回　心技体を表現:・第一印象と初頭効果・接客用語で挨拶
第4回　お辞儀の大切さ・笑顔トレーニング
第5回　身だしなみ
第6回　ビジネスマナー:・お客様応対を考える
第7回　言葉遣いと敬語・来客応対(ご案内・席次～お見送りまで)
第8回　物の指し示しと物の授受
第9回　顧客満足とプロのサービス:・接客プロセスを学ぶ・サービスに必要な「S」
第10回　トラブル対応の基本・話し方と聞き方・傾聴
第11回　電話応対のマナー:・電話の受け方と掛け方の基本(取次から不在時まで)
第12回　電話応対ロールプレイング(録音とﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ)
第13回　企業が求める人材とは
第14回　コミュニケーション能力と葉（企業は何を、どこを見るのか）
第15回　面接時のポイント・面接ロールプレイング

■教科書: 内容に沿ってワークシート使用

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 山間　香綾　（専任教員）
実務経験: 店舗接客業、オーダーデザイン業務のアートディレクションからデザイン制作、ＤＴＰ作成等を担当。

科目名　:	デザイン基礎Ⅱ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: ●illustrator、Photoshopの基本操作を復習し、応用技術を学ぶ　●花の画像を用いたデジタルコラージュ作品を制作する。●コンペ出展作品を制作する。

■到達目標: ①illustrator、Photoshopの操作に慣れ、応用できるようになる。　②デジタル画としてのフラワーデザインの感覚を養う　③コンペへの作品制作によってコンセプトメイクを大切にする姿勢を養う

■授業計画:

第1回　基本操作の復習、デジタルコラージュの鑑賞

第2回　デジタルコラージュ①

第3回　デジタルコラージュ②

第4回　デジタルコラージュ③

第5回　デジタルコラージュ④

第6回　コンペティションデザイン①

第7回　コンペティションデザイン②

第8回　コンペティションデザイン③

第9回　コンペティションデザイン④

第10回　花のデフォルメイラスト①

第11回　花のデフォルメイラスト②

第12回　花のデフォルメイラスト③

第13回　ポストカードデザイン①

第14回　ポストカードデザイン②

第15回　ポストカードデザイン③

■教科書: 自作プリント・資料

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 山間　香綾　（専任教員）
実務経験: 店舗接客業、オーダーデザイン業務のアートディレクションからデザイン制作、ＤＴＰ作成等を担当。

科目名　:　DTP演習

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 文字の扱いとバランス、レイアウトが持つ意味を理解させ、意図を感じるものづくりの意識の定着を図る。魅力的なポートフォリオとは何か。

■到達目標: ①伝えるべき情報の優先順位を的確にとらえ、自由な発想でデザインを作ることができる。②文字組など細部にまで気を使えるようになる③illustrator、Photoshop検定3級合格を目指す

■授業計画:

第1回　魅力的なポートフォリオを考える

第2回　好きなフローリスト、アーティストの紹介ボード①

第3回　好きなフローリスト、アーティストの紹介ボード②

第4回　好きなフローリスト、アーティストの紹介ボード③

第5回　好きなフローリスト、アーティストの紹介ボード④

第6回　ポートフォリオの作成①

第7回　ポートフォリオの作成②

第8回　ポートフォリオの作成③

第9回　ポートフォリオの作成④

第10回　illustrator、Photoshop検定問題①

第11回　illustrator、Photoshop検定問題②

第12回　illustrator、Photoshop検定問題③

第13回　illustrator、Photoshop検定問題④

第14回　illustrator、Photoshop検定問題⑤

第15回　illustrator、Photoshop検定問題⑥

■教科書: プロジェクターの投影中心、世界一わかりやすいillustrator、&Photoshop

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 山間　香綾　（専任教員）
実務経験:

科目名　:	プランニング

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: ●PowerPointを用いたプレゼンテーションを学び、花をテーマにしたイベント、お祭のプレゼンテーションを行う。
●進級制作における作品発表のプレゼンテーションを考える

■到達目標: ①自分のアイディアを明文化し、第三者に分かりやすく伝えることが出来るようになる。
②情報を整理し、見やすい構成を考えられるようになる。

■授業計画:

第1回　わかりやすいプレゼンとは

第2回　花をテーマにしたイベント・お祭りのプレゼンテーション①

第3回　花をテーマにしたイベント・お祭りのプレゼンテーション②

第4回　花をテーマにしたイベント・お祭りのプレゼンテーション③

第5回　花をテーマにしたイベント・お祭りのプレゼンテーション④

第6回　売り上げを意識したイベントのプレゼンテーション①

第7回　売り上げを意識したイベントのプレゼンテーション②

第8回　売り上げを意識したイベントのプレゼンテーション③

第9回　売り上げを意識したイベントのプレゼンテーション④

第10回　PowerPointのデザイン

第11回　進級制作のプレゼンテーションボード作成①

第12回　進級制作のプレゼンテーションボード作成②

第13回　進級制作のプレゼンテーションボード作成③

第14回　進級制作のプレゼンテーションボード作成④

第15回　進級制作のプレゼンテーションボード作成⑤

■教科書: 自作プリント・資料

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 山間　香綾　（専任教員）
実務経験:

科目名　:	立体表現

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: ●ランドアート、アースアートを鑑賞する（アンディゴールズワージー、イサムノグチなど）　●現代アートにおける生花とは、その役割を学ぶ

■到達目標: ①現代アートにおける生花、木材の扱いを知り、作品理解の幅を広げる。　②進級制作へのインスピレーション、アイディアなどに繋げられるようになる

■授業計画:

第1回　現代アートにおける植物の表現①

第2回　アースアート、ランドアートとは

第3回　ランドアート制作①

第4回　ランドアート制作②

第5回　ランドアート制作③

第6回　現代アートにおける植物の表現②

第7回　現代アートにおける植物の表現③

第8回　進級制作のアイディア出し①

第9回　進級制作のアイディア出し②

第10回　現代アート表現を進級制作に生かす①

第11回　現代アート表現を進級制作に生かす②

第12回　現代アート表現を進級制作に生かす③

第13回　現代アート表現を進級制作に生かす④

第14回　現代アート表現を進級制作に生かす⑤

第15回　現代アート表現を進級制作に生かす⑥

■教科書: 自作プリント・資料、映像資料

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科:　環境デザイン学科
対象専攻:　フラワーデザイン専攻
担当教員:　山間　香綾　（専任教員）
実務経験:　店舗接客業、オーダーデザイン業務のアートディレクションからデザイン制作、ＤＴＰ作成等を担当。

科目名　:	販売実務

履修形態:　必修
授業形態:　演習
履修学年:　１年次
開講学期:　後期
授業時数:　３０時間
単　　位:　１単位

■科目概要:　●店舗内における効果的なPOPやギフトラッピングの基本。その役割など
●自分の理想の花屋をブランディングする

■到達目標:　①店舗内における効果的なＰＯＰを理解し、実際に作成する　②ロゴマーク作成や店舗のブランディングの流れを知り、店舗理解を深める

■授業計画:

第1回　理想の花屋を考える。店舗内広告の効果や役割

第2回　自分の理想の花屋をブランディングする①

第3回　自分の理想の花屋をブランディングする②

第4回　自分の理想の花屋をブランディングする③

第5回　自分の理想の花屋をブランディングする④

第6回　自分の理想の花屋をブランディングする⑤

第7回　店内販促POP①

第8回　店内販促POP②

第9回　店内販促POP③

第10回　店内販促POP④

第11回　ギフトデザイン①

第12回　ギフトデザイン②

第13回　ギフトデザイン③

第14回　ギフトデザイン④

第15回　ギフトデザイン⑤

■教科書:　自作プリント・資料

■参考書:

■成績評価:　出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 野沢　桐子　（非常勤講師）
実務経験:

科目名　:	デッサン

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 植物を観察し構造を学ぶ。デッサンの基本理論と技法を理解する。彩色テクニックを身につける。
ショップカードやポストカードをデザインする。

■到達目標: 対象物の形、量感、質感、空間、存在感を意識し平面上に再現する。基礎的な画力を身につけ、仕事の場で活かすことを目標とする。

■授業計画:

第1回　オリエンテーション:①デッサンの基本的理論と技法②用具取り扱いと基本演習

第2回　花の描き方1:花の基本構造

第3回　花の描き方2:鉛筆デッサン

第4回　花の描き方3:鉛筆デッサン提出

第5回　ショップカード制作1:彩色(色鉛筆)

第6回　ショップカード制作2:彩色(色鉛筆)提出

第7回　ポストカード制作1:構図を考える。 下描き。

第8回　ポストカード制作2:彩色(絵具)提出

第9回　生花のデッサン1:構図を考える。下描き。

第10回　生花のデッサン2

第11回　生花のデッサン3

第12回　ゼンタングル:彩色(黒ペン)

第13回　ゼンタングル:彩色(黒ペン)提出

第14回　生花のデッサン4:

第15回　生花のデッサン5:生花デッサン提出

■教科書: 画用紙、クロッキーブック、鉛筆、練り消し、定規、色鉛筆、絵具、カッター、定規、黒ペン

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: インテリアデザイン専攻
担当教員: 山間香綾 （専任教員）
実務経験:

科目名 :	後期課題制作

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、後期のまとめとして課題制作を行う。進級制作に繋がる資料収集、準備、計画に役立てる。

■到達目標: 必要な資料を収集するリサーチ能力や、多様な視点から発想を広げて具体的な表現に展開する力を身に付ける。

■授業計画:

第1回　情報収集

第2回　収集データの解析と加工

第3回　傾向と対策

第4回　アイディア出し、エスキース

第5回　ファーストインプレッション

第6回　アウトプット

第7回　ブラッシュアップ作業

第8回　コンセプトワーク、ターゲットユーザー

第9回　構成とロジック

第10回　モックアップ（模型）制作

第11回　実制作（自分らしい表現方法を知り、双方向なプレゼンテーションを目指す）

第12回　ブラッシュアップ作業

第13回　実制作

第14回　自分の意見・考えを確立した説得力のあるプレゼンテーション

第15回　フィードバック

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 山間香綾 他　（専任教員）（非常勤講師）
実務経験:

科目名 :	進級制作

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: １８０時間
単　　位: ６単位

■科目概要: 一年間の学業で身に付けた専門知識と技術を集大成した作品を制作する

■到達目標: 一年間の学習の成果が充分に発揮できている作品を完成させる

■授業計画:

第1回　講師打合せ(1)　各課題の内容を確認し、制作内容を各担当講師と打合せる

第2回　講師打合せ(2)

第3回　講師打合せ(3)

第4回　実制作(1)　打合せ内容に基き作品制作を行う

第5回　実制作(2)

第6回　実制作(3)

第7回　実制作(4)

第8回　実制作(5)

第9回　制作内容確認　中間成果物に対して担当講師による内容確認を受ける

第10回　ブラッシュアップ(1)

第11回　ブラッシュアップ(2)

第12回　ブラッシュアップ(3)

第13回　ブラッシュアップ(4)

第14回　プレゼンテーション準備　審査会に向けて発表資料を作成する

第15回　進級制作審査会　作品のプレゼンテーションを行い作品の評価を受ける

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 谷内　恵　（非常勤講師）
実務経験: 1級フラワーデザイナーNFD本部講師。1級フラワー装飾技能士。

科目名　:	フラワーデザイン演習Ⅱ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: （公社）日本フラワーデザイナ協会［NFD］のデザイン理論に基づいて、基礎の上に充分な技術と知識を学び、季節の花やグリーンなどをデザインする

■到達目標: 植物形態を理解し、植生やテクスチュアを考えたデザインが出来るテクニックと知識を身につける

■授業計画:

第1回　イースターアレンジメント：イースターのテーブルデコレーション

第2回　バッグブーケ①：プラスティックダンボールをデコパージュし、ベースとなるハンドバッグ型を制作

第3回　バッグブーケ②：前回制作したバッグ型に、アーティフィシャルフラワーを使ったブーケ

第4回　ホリゾンタルアレンジメント：水平形に構成する360度展開のアレンジメント

第5回　構造的（テクスチュア）：植物の材質感の違いによって表面構造を表現する構成

第6回　メリアブーケ：ワイヤテクニックで作るローズメリアブーケ

第7回　水平の花束：水平に構成した土台を用いて、水平に束ねる花束

第8回　フラワーカーペット：SAPPOROフラワーカーペット（校外学習）

第9回　モダン―装飾的花束：底辺が広がる円錐形に構成する花束

第10回　交差：植物素材の交差によって空間を表現する構成

第11回　ドームアレンジメント：半円球体に構成する360度展開のアレンジメント

第12回　キャスケードブーケ：ブーケホルダーを用いて小さな滝のような懸垂形にまとめたブーケ

第13回　自然的：植生の異なる植物素材のキャラクターをいかして自然な感じを表現する構成

第14回　非対称形のブーケ：ブーケホルダーを用いて非対称形に構成する花嫁の花束

第15回　枝物のデザイン：枝物を用いて構成するアレンジメント

■教科書: フラワーデザイナー資格検定試験テキスト

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 清水　さくら　（非常勤講師）
実務経験: 生花店チーフデザイナー。フローリスト 。ハナトリウム主宰。北海道デザイン協議会会員。ジャパンカップ1位受賞、アジアカップ日本代表など

科目名　:	コーディネーションⅡ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 様々な自然素材から着想を得て、フラワーアレンジに生かす。コンテストやフラワーディスプレイに挑戦する

■到達目標: 自然素材から発想するデザイン力を培い、コンテストに挑戦する姿勢を養う

■授業計画:

第1回　春のデザイン:春らしく桜の枝でアレンジする

第2回　植物と野菜:花と野菜の提案

第3回　母の日ギフト:BOXギフト　好きな色を選ぶ

第4回　スワッグ（壁の花）:ドライになる花材で花束を作る

第5回　父の日ギフト:プレゼントと花束

第6回　ブライダル:グループデザイン　空間ディスプレイ

第7回　ブライダルブーケ:ナチュラルブーケ

第8回　キャンドルアレンジ:テーブル飾り

第9回　リースブーケ:リング状にデザインしたブーケ

第10回　フラワーコンテスト:びっくり箱で花材をテーマに合わせてデザンする

第11回　美術館見学

第12回　植物一種類:1種の花でデザインする

第13回　器を植物で作る:造形デザイン

第14回　秋のディスプレイ:校内アレンジをする

第15回　卒制デザイン:卒制のデザインを考える

■教科書: 自作資料

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 柏葉　弥生　（非常勤講師）
実務経験: 華道家元池坊師範　准華督

科目名　:	いけばな演習

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 日本の伝統文化として伝えられているいけばなの原点である池坊の起源・基礎・応用。住環境・時代の変化にも対応してきた池坊の四季草木の美しさ、色彩、自然との関りを実技にて表現

■到達目標: 授業終了時まで免許取得（中等科）
インターネット花展への応募

■授業計画:

第1回　講義　生花(しょうか)の本質　生花の種類(基本の花形):生花正花風体　一種生　葉蘭5枚　本勝手
第2回　校外学習:北海道いけばな百人展　いけばな各流派の作品を鑑賞
第3回　実技　生花正風体(しょうかしょうふうたい):生花正花風体　一種生　葉蘭5枚　逆勝手　葉蘭7枚　本勝手
第4回　実技　生花正風体:生花正花風体　一種生　柳9本　本勝手
第5回　実技　生花正風体:生花正花風体　一種生　リアトリス9本　本勝手
第6回　校外学習:いけばな池坊　札幌花展　いけばな池坊の作品を鑑賞
第7回　実技　生花正風体:生花正花風体　二種生　柳と小菊(又はアイリス)　本勝手
第8回　実技　生花正風体:生花正花風体　二種生　枝物と小菊(又はアイリス)　本勝手
第9回　講義　及び実技　自由花　インターネット花展へ向けて:季節を意識した花材と花器との構成　1年時に学習した自由花の構成要素・用語の復習　線・点・面・マッス　池坊インターネット花展について
第10回　実技　自由花　池坊インターネット花展へ向けて:線を主にした作品制作とまとめ、写真撮影　直線・曲線・折れ線
第11回　実技　自由花　池坊インターネット花展へ向けて:点を主にした作品制作とまとめ、写真撮影
第12回　実技　自由花　池坊インターネット花展へ向けて:面を主にした作品制作とまとめ、写真撮影
第13回　実技　自由花　池坊インターネット花展へ向けて:各自の自由発想で自由花作品制作とまとめ、写真撮影　立体表現(空間)
第14回　実技　自由花　池坊インターネット花展へ向けて:各自の自由発想で自由花作品制作とまとめ、写真撮影　空間について(奥行)
第15回　講義　まとめ:いけばなの講義を受けた感想をレポート記入　自由花作品の説明

■教科書: いけばな略年表、テキスト「IKENOBO　ABC」
器・剣山・ハサミ・給水性スポンジ、ワイヤーなど

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 柳瀬　勇佑　（非常勤講師）
実務経験: ブライダル業務、装花業務、店内業務全般を経験後フローリストとしてデザイナー担当。

科目名　:　スペースデザイン演習

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: コンセプト、共通テーマを意識して、個人でのデザイン、チームでのデザインと作品制作を行う。パースの基本を学ぶ。

■到達目標: 簡単なパースを描ける。空間装飾の役割を理解し、共通テーマやコンセプトにそってデザインを起案し、空間を生かす作品を制作できる。

■授業計画:

第1回　オリエンテーション:空間装飾の役割、バリエーションの紹介
「街の気になる空間装飾」レポートシートを配布し説明、次回までの課題とする。
第2回　レポート発表後、講評、意見交換、提出

第3回　スポーツ大会の会場装飾1:2チーム(身につけるアイテムの制作チーム、会場装飾物の制作チーム)ごとにデザインを決める。
第4回　スポーツ大会の会場装飾2:チームごとに、生花以外の材料から、使用材料を選定する。
第5回　スポーツ大会の会場装飾3:チームごとに制作する。

第6回　共通テーマにそった壁面装飾のプランニング1:パースの基本を説明。教室前廊下の壁面装飾を考える。個人でデザイン画(パース)を描く。
第7回　共通テーマにそった壁面装飾のプランニング2:前回書いたデザイン画の講評、意見交換。
第8回　共通テーマにそった壁面装飾のプランニング3:全体の共通テーマとデザインを選定し、使用材料を決める。
第9回　共通テーマにそった壁面装飾の制作1:花材の選定とその他材料の準備

第10回　共通テーマにそった壁面装飾制作2:教室前廊下の壁面装飾　制作

第11回　ダリア展制作1:ダリア展の概要、日程説明　共通テーマと分担(チーム)を決める

第12回　ダリア展制作2:チームごとに担当する場所の写真と位置図を見て、共通テーマにそって、ディスプレイのデザインを考える。
第13回　ダリア展制作3:チームごとに担当する場所の使用花材、使用資材を選定する。各チームリーダーで協議し、会場全体のディスプレイを決定する。
第14回　ダリア展制作4:ダリア展作品の土台制作1

第15回　ダリア展制作5:ダリア展作品の土台制作2

■教科書: フラワーデザイナーのためのハンドブック増補改訂版
アレンジ花図鑑　花屋さんの花材がすべてわかる

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 中村　晃　（非常勤講師）
実務経験: 生花店店舗業務全般経験後、ゼネラルマネージャーとして勤務。札幌カップゴールド賞、デザイナーズウィークアレンジコンテスト優勝など

科目名　: **クリエイティブワークⅡ**

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 花の植生の基本知識を身につけさせ、素材を生かすデザインを学ばせる。常にトレンドのデザインを意識し、実践する。

■到達目標: 花の植生の基本知識をもとに素材を生かすデザインを生み出す姿勢を身につける。トレンドのデザインを知り、常にアンテナを張る姿勢を養う。

■授業計画:

第1回　ギフト:花束とBOXフラワー（花束アレンジ）
第2回　ギフト:スタイリッシュアレンジ（アレンジ）
第3回　ギフト:カーネーションを使ったデザイン（母の日）
第4回　ギフト:枝のアレンジ（アレンジ）
第5回　ギフト:バラのデザイン
第6回　いけばな:シャクヤクの立ち姿
第7回　花の仕事:自分で選ぶ花材1（アレンジ）
第8回　花の仕事:ウェディングゲストテーブル（アレンジ）
第9回　花の仕事:ウェディングブーケ（花束）
第10回　ギフト:花束ラッピング（花束）
第11回　ギフト:葉物ラッピング（花束）
第12回　花の仕事:花色レッスン（アレンジ）
第13回　ギフト:シンプルデザイン（アレンジ）
第14回　花の仕事:自分で選ぶ花材2（アレンジ）
第15回　花の仕事:ディスプレイ投げ入れ（アレンジ）

■教科書: 自作プリント・資料

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 江尻　陽子　（非常勤講師）
実務経験: 生花店勤務、店内業務全般を担当

科目名　: **フローラルアートⅡ**

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 身近にある様々な素材を使用し、フラワーアレンジメントに生かしデザインの引き出しを増やす。

■到達目標: 様々な素材から着想を得てデザインの可能性を広げ、フラワーアレンジメントに生かす能力を養う。

■授業計画:

第1回　コサージュ、アレンジ制作①:プリザーブドフラワーを使ってコサージュやアレンジメント制作。
第2回　コサージュ、アレンジ制作②:前回の続き。
第3回　寄せ植え①:各自テーマや使用する材料、植物の選定、デザインをおこす。
第4回　寄せ植え②:前回の続き。事前に準備できるものはする。
第5回　寄せ植え③:前回の続き。実際にデザイン画を元に植物を植える。
第6回　フォトフレームを使ってデザイン①:木材でフォトフレームを2～3個制作。2～3個を繋げ、1つのデザインにする
第7回　フォトフレームを使ってデザイン②:前回の続き。作品完成。
第8回　コサージュ制作:花壇の花を使ってコサージュを制作。
第9回　サマージャーポット①:瓶の中に夏らしいものを入れて1つの作品にする。素材あつめ
第10回　サマージャーポット②:前回の続き。作品完成。
第11回　造花のカーペットを使った作品作り①:造花のカーペットを使ってアートフラワーなどを使用し、作品制作。
第12回　造花のカーペットを使った作品作り②:前回の続き。作品完成。プレゼンと評論会
第13回　学校祭に向けて①:1、2年合同で学校祭に向けて商品提案とディスプレイ提案
第14回　学校祭に向けて②:前回の続き。事前に準備できるものは制作。
第15回　学校祭に向けて③:前回の続き。

■教科書: アートフラワー、プリザーブドフラワー、制作に必要な素材

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 中嶋　ゆうき　（非常勤講師）
実務経験: 生花小売・ 生花業、ブライダルフラワー業マネージャー

科目名　:	ブライダルフラワー

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 結婚式における花の基本知識を身につけさせ、必要なデザインを学ぶ。流行りのデザインを知り、実践する。

■到達目標: 結婚式における花の基本知識をもとに必要な商品を生み出す姿勢を身につける。トレンドを意識しデザインする能力を養う。

■授業計画:

第1回　ブライダルフラワーとは
次回のイメージデッサン作成
第2回　トレンドアイテム制作　ウェルカムボード装飾

第3回　トレンドアイテム制作　イメージデッサン作成
和風ボールブーケ
第4回　トレンドアイテム制作　イメージデッサン作成
リースブーケ
第5回　新郎新婦へ商品提案

第6回　前回をもとに商品制作　かすみ草のみ
終了後プレゼンテーション
第7回　トレンドアイテム制作　ドライフラワー

第8回　トレンドアイテム制作　アクセサリー

第9回　トレンドアイテム制作　引き出物

第10回　会場装飾について

第11回　店舗業務における基本知識

第12回　ウェディングフラワーアレンジメントの提案グループワーク①

第13回　ウェディングフラワーアレンジメントの提案グループワーク②

第14回　ウェディングフラワーアレンジメントの提案グループワーク③

第15回　ウェディングフラワーアレンジメントの提案グループワーク④

■教科書: 自作プリント・資料など

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 横山　仁　（非常勤講師）
実務経験: 生花店代表取締役。フラワー装飾技能士熟練技能者。

科目名　:　フラワービジネス

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 生花業界の仕組み、あり方、生花の流通、フローリストとしての心構え、生花店の仕事など、全般的に学ぶ。

■到達目標: フローリストとして必要なフラワービジネスの知識を身につけている。

■授業計画:

第1回　生花業界について:生花業界について、関連組織について

第2回　生産と流通:生産、流通、販売について花の扱い方、手入れ、分類、種類、性質について

第3回　生産と流通:生産と流通、販売について

第4回　生産と流通:生産と流通、販売について　花屋の分類

第5回　生産と流通:花屋の分類と仕事

第6回　人材としての心構え1:フローリストとしての考え方と心構え

第7回　生花店の仕事について:生花店の仕事について　常識とは、接客について、電話対応について

第8回　生花店の仕事について:生花店の仕事について　常識とは、接客について、電話対応について

第9回　商品と作品の違い:商品と作品の違い、花の扱い方

第10回　商品と作品の違い:商品と作品の違い、花の扱い方

第11回　フラワーデザインの知識・安全について:フラワーデザインの知識・安全についての確認1

第12回　フラワーデザインの知識・安全について:フラワーデザインの知識・安全についての確認2

第13回　スタンド装花の制作:葬儀スタンド制作

第14回　市場見学:市場見学、市場内容説明会

第15回　市場見学振り返り:市場見学のレポート作成

■教科書: 自作プリント

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 山間　香綾　（専任教員）
実務経験: 店舗接客業、オーダーデザイン業務のアートディレクションからデザイン制作、ＤＴＰ作成等を担当。

科目名　:　造形演習

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: ●illustratorとPhotoshopを用いて、ポートフォリオを作成する。
●コンペティションへ向けた作品制作によって創造性を高める。　●ランドアート、アースアートの鑑賞

■到達目標: ①就職活動の際に使える作品集を制作する。
②コンペへの作品制作におけるコンセプトメイクを大切にする姿勢を養う。
③現代アートの作品に触れ、卒業制作のインスピレーションを高める。④illustrator、Photoshop検定3級合格を目指す

■授業計画:

第1回　ランドアート、アースアートの鑑賞
第2回　好きなフローリスト、アーティストの紹介ボード①
第3回　好きなフローリスト、アーティストの紹介ボード②
第4回　好きなフローリスト、アーティストの紹介ボード③
第5回　好きなフローリスト、アーティストの紹介ボード④
第6回　ランドアート、アースアートの鑑賞
第7回　ランドアート制作①
第8回　ランドアート制作②
第9回　作品の画像編集、加工とは
第10回　コンペティションデザイン①
第11回　コンペティションデザイン②
第12回　コンペティションデザイン③
第13回　コンペティションデザイン④
第14回　illustrator、Photoshop検定問題①
第15回　illustrator、Photoshop検定問題②

■教科書: 自作プリント・資料

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 山間　香綾　（専任教員）
実務経験: 店舗接客業、オーダーデザイン業務のアートディレクションからデザイン制作、ＤＴＰ作成等を担当。

科目名　:	プレゼンテーションⅠ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: ●デザインとは何か、コンセプトとは何か。
●illustratorとPhotoshopの基本操作の指導と撮影によるデザイン制作の実践。　●文字の扱いとバランス、レイアウトが持つ意味を理解させ、意図を感じるものづくりの意識の定着。
●提出の際にはプレゼンを行い、考え方を相手にしっかりと伝わるよう訓練する。

■到達目標: ①伝えるべき情報の優先順位を的確にとらえ、自由な発想でデザインを作ることが出来る。
②文字組など細部にまで気を使えるようになる。現場で役立つ基本スキルを身につける。　③プレゼンに慣れ、伝わりやすい話し方を考えられるようになる。

■授業計画:

第１回　DTPとは、その効果と重要性
第２回　分かりやすいプレゼンとは
第３回　魅力的なポートフォリオを考える
第４回　Photoshopによる写真加工、illustratorによる作品集の制作①
第５回　Photoshopによる写真加工、illustratorによる作品集の制作②
第６回　Photoshopによる写真加工、illustratorによる作品集の制作③
第７回　Photoshopによる写真加工、illustratorによる作品集の制作④
第８回　より良いポートフォリオにするためには
第９回　プレゼンテーション練習
第１０回　花をテーマにしたイベント・お祭りのプレゼンテーション①
第１１回　花をテーマにしたイベント・お祭りのプレゼンテーション②
第１２回　花をテーマにしたイベント・お祭りのプレゼンテーション③
第１３回　花をテーマにしたイベント・お祭りのプレゼンテーション④
第１４回　グループディスカッション①
第１５回　グループディスカッション②

■教科書: 自作プリント・資料
■参考書:
■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。
■関連科目:
■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 山間香綾 （専任教員）
実務経験:

科目名 :	前期課題制作

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ３０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、前期のまとめとして課題制作を行い、各種コンテスト（コンペ、公募、アワード）へ出品する。

■到達目標: 必要な資料を収集するリサーチ能力や、多様な視点から発想を広げて具体的な表現に展開する力を身に付ける。

■授業計画:

第1回　情報収集

第2回　収集データの解析と加工

第3回　傾向と対策

第4回　アイディア出し、エスキース

第5回　ファーストインプレッション

第6回　アウトプット

第7回　ブラッシュアップ作業

第8回　コンセプトワーク

第9回　構成とロジック

第10回　モックアップ（模型）制作

第11回　実制作（自分らしい表現方法を知り、双方向なプレゼンテーションを目指す）

第12回　ブラッシュアップ作業

第13回　実制作

第14回　自分の意見・考えを確立した説得力のあるプレゼンテーション

第15回　フィードバック

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点 :

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 山間　香綾　（専任教員）
実務経験: 店舗接客業、オーダーデザイン業務のアートディレクションからデザイン制作、ＤＴＰ作成等を担当。

科目名　：　プレゼンテーションⅡ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 後期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: ●illustrator、Photoshopを用いてプレゼンテーションボードの作成をする。
●PowerPointを用いて作品の効果的なプレゼンを考える

■到達目標: ①卒業制作を引き立て、より完成度を高める効果のあるボードを作成する。②PowerPointによるプレゼンテーションを身につける

■授業計画:

第1回　プレゼンボードの役割とデザイン

第2回　販売イベントのプレゼンテーション①

第3回　販売イベントのプレゼンテーション②

第4回　販売イベントのプレゼンテーション③

第5回　販売イベントのプレゼンテーション④

第6回　ラフスケッチやデザインを効果的に使う方法

第7回　デザインコンセプトにあったプレゼンボードの作成①

第8回　デザインコンセプトにあったプレゼンボードの作成②

第9回　デザインコンセプトにあったプレゼンボードの作成③

第10回　デザインコンセプトにあったプレゼンボードの作成④

第11回　プレゼン用資料作成①

第12回　プレゼン用資料作成②

第13回　プレゼン用資料作成③

第14回　発表用原稿、資料作成

第15回　プレゼン発表練習、講評

■教科書: 自作プリント・資料

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 山間香綾　他　（専任教員）（非常勤講師）
実務経験:

科目名　:	卒業制作

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 後期
授業時数: ４５０時間
単　　位: １５単位

■科目概要: 二年間の学習で身につけた専門知識と技術の集大成となる作品を制作する

■到達目標: 実力を充分に発揮したと社会的に評価されるレベルの作品を完成させる

■授業計画:

第1回　コンセプトメイキング　作品のターゲットとテーマを設定する

第2回　講師打合せ　担当講師と制作内容を確認

第3回　一次審査提出作品制作(1)

第4回　一次審査提出作品制作(2)

第5回　一次審査提出作品制作(3)

第6回　一次審査提出作品制作(4)

第7回　プレゼンテーション準備　一次審査に向けての資料作成

第8回　一次審査　プレゼンテーション

第9回　一次審査フィードバック　講評内容と今後の方向性の確認

第10回　最終審査提出作品制作(1)

第11回　最終審査提出作品制作(2)

第12回　最終審査提出作品制作(3)

第13回　最終審査提出作品制作(4)

第14回　最終審査提出作品制作(5)

第15回　最終審査　プレゼンテーション

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 山間香綾 （専任教員）
実務経験:

科目名 :	企業研究

履修形態: 必修
授業形態: 講義＋演習
履修学年: ２年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 現状の自分の経験やスキルベースを再認識し、自らの持つ能力を活かし活躍できる企業を見つける。

■到達目標: 企業の情勢を把握し、自分が企業でどのような活躍ができるかを認識する。自己を客観視する視点を養い、自己理解を深める。

■授業計画:

第1回　自己分析:自分の目標を見つめ直す

第2回　自己分析:自分の持つスキルを精査する

第3回　自己分析:自分の個性、特性を見定める

第4回　自己分析:自分が進むべき業種を定める

第5回　企業研究:フラワー業界の実態の調査

第6回　企業研究:企業のリストアップ

第7回　企業研究:企業の調査

第8回　企業研究:優先的にアプローチする企業を定める

第9回　履歴書作成:履歴書とエントリーシートの内容精査1

第10回　履歴書作成:履歴書とエントリーシートの内容精査2

第11回　グループ面接練習1

第12回　グループ面接練習2

第13回　グループ面接練習3

第14回　ポートフォリオ作成1

第15回　ポートフォリオ作成2

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点 :

対象学科: 環境デザイン学科
対象専攻: フラワーデザイン専攻
担当教員: 山間香綾　石川恭行　（専任教員）
実務経験:

科目名　:	業界研究

履修形態: 必修
授業形態: 講義＋演習
履修学年: ２年次
開講学期: 後期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 自分の目指す業界、企業の具体的な調査・分析方法を習得し、エントリーシート･履歴書･ポートフォリオの作成を行い活用する能力を養う

■到達目標: 希望業界、希望職種への就職達成

■授業計画:

第1回　業界を知る（リサーチ、比較、ホームページの活用）、絞り込み

第2回　職種研究、絞り込み

第3回　キャリア教育基礎

第4回　企業研究･分析の基礎

第5回　企業分析演習

第6回　自己分析（就活計画報告書作成）

第7回　キャリアプランニングと将来設計

第8回　就職試験の概要と資格

第9回　エントリーシート･履歴書作成演習

第10回　ビジネスメール、ビジネスレター演習

第11回　就職活動マナー講座、ビジネスマナー演習

第12回　就職筆記試験対策①

第13回　就職筆記試験対策②

第14回　SPI対策

第15回　一般常識、時事問題対策（社会人としての法律知識）

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点 :